

2006年度 (社)中村青年会議所
委員会基本方針・事業計画・事業予算

emoヤン委員会

委員長 植田 耕一

基本方針

【感動:emotion】・・・深く物事に感じて心が動くこと。

皆さんは、日々の生活の中で感動を覚えることがありますか？親戚や友人のお祝い事、テレビや小説での名場面、旅行先での雄大な景色等々、人それぞれ感動する場面があると思います。私は、3年前まで約10年間、大阪で建築工事の現場監督をしていました。建築現場では、建物を完成させるという一つの目標に向かって、延べ何万人・何十万人の人間が何年もかけて取り組みます。そうして出来上がった建物を見たとき、私はそのたびに深い感動を覚えました。それはやはり、多くの人が一丸となりひとつの事を成し遂げることの達成感にあるのではないのでしょうか。現在、その感動に代わる感動はなんだろうと考えたとき、思い浮かぶのが JC での事業活動でした。一つの目標に向かって皆が協力し、事業を成し遂げた瞬間、これこそが、私の探していた感動だと感じました。

2006年(社)中村青年会議所は創立50周年を迎えます。当委員会では、この節目の年に、新年会・しまんと市民祭等、多くの事業があります。これらのどの事業も、皆さんの協力が無ければ達成できません。創立50周年を迎えたこの年だからこそ、(社)中村青年会議所の結束力を再確認し、メンバーが一丸となって事業を成し遂げ、心地よい感動を味わおうではありませんか。

※emo ヤン委員会＝emotional ヤンチャ委員会

事業計画

事業名	事業目的	実施予定日
新年会	創立50周年を迎えた2006年度(社)中村青年会議所の活動を PR し、2006年度最初の事業を全員で成し遂げ、(社)中村青年会議所の結束を再確認する。	1月7日
しまんと市民祭	みんなで市民祭を盛り上げると共に、メンバーと助っ人との交流をはかる。又、メンバーが一丸となり、提灯台を作成しメンバー間の結束を高め、しまんと市民祭の成功をめざす。	7月29日
POWER UP例会	例会の中でテーマを決め、発表や議論をすることにより、メンバーの例会参加意識の向上・個々のレベルアップを図る。	5月・8月
会員オリエンテーション	正しく JC 運動を理解してもらい、会員の意識を向上し、より活発で有効な JC 運動へのステップアップを目指す。	未定